

会派行政視察報告書

周南市議会議長 土屋 晴巳 殿

令和4年10月27日

周南市議会 公明党会派代表 金子 優子

遠藤 伸一

江崎 加代子

小池 一正

令和4年10月25日(火)から10月26日(水)迄、会派公明党で下記内容の調査に静岡県沼津市・東京都あきる野市に出張を致しましたので、その概要を報告します。

—記—

1. 日時 令和4年10月25日(火)から10月26日(水) 1泊2日
視察先 10月25日(火) 静岡県沼津市
10月26日(水) 東京都あきる野市
2. 出張者 金子 優子、遠藤 伸一、江崎 加代子、小池 一正
3. 内容
 - ・沼津市 アタックドローンを用いた獣害対策について
 - ・あきる野市 ICTを活用した高齢者見守り事業について

※日程詳細～別紙報告書及び添付資料のとおり

【周南市議会公明党】会派視察報告書

報告者 小池 一正

沼津市役所 議会第3・4委員会室/移動後沼津市南消防署内室内フロア

令和4年10月25日(火)14時00分～16時00分

【対応説明者】 産業振興部 農林農地課 農林振興係

主事 伊藤 尚志 事務員 山田 湧也

【調査事項】 アタックドローンを用いた獣害対策について

【所感】 ドローンを使った鳥獣対策の調査についてパワーポイントによる説明を受ける。タカの声などを加工した絶叫音を出す装置を取り付けたドローン(アタックドローン)でサルなどに急接近を何回も繰り返し威嚇して山に追い払う獣害対策に活用している。静岡県からの補助金によりドローンを一台25万円で購入した。ICTによる檻/囲い込み罠の遠隔監視・操作システム(クラウドまるみえホカクン)や長距離無線式捕獲パトロールシステム(ほかパト)を併用して活用することで、サルの出没情報が激減した。これはサルにとどまらずイノシシの群れを捕獲することに利用できると説明される。アタックドローンの操縦体験をさせて頂いたが、ドローン操作は容易で、初心者でも簡単に飛ばすことが可能であった。周南市の鳥獣被害対策にこのたびの調査案件は、早期に取り入れるべきと感じた。今後は、本会議での質問として取り上げたい。

【周南市議会公明党】会派視察報告書

報告者 小池 一正

あきる野市役所 議会会議室 5階

令和4年10月26日(水)10時00分～12時00分

【対応説明者】 健康福祉部 高齢者支援課 課長 山田 直喜

【調査事項】 ICTを活用した高齢者見守り事業について

【所感】

事業の概要は、見守り高齢者宅内の電球をICT(情報通信技術)を活用した通信機能付LED電球に交換し、24時間連続で点灯や消灯が確認できなかった場合に民間受信センターにて自動で検知を行い、本人や親族などに連絡を取り、安否確認を行うことで高齢者を見守る事業である。主な事業効果は、緊急時のみの対応で見守り事業の人手不足の解消が図られる。見守られる側の負担軽減にもつながる。見守り体制の課題は、現在検知まで10時間のロスが生じている。これは検知の誤作動が起こらない許容時間の範囲であるが時間短縮できるよう見直しを検討しているとのこと。利用人数は、26人(令和4年3月末現在)だが、他の見守り事業(乳酸菌飲料配達、新聞配達、郵便配達、一般廃棄物収集、高齢者配色サービス、地域防災・安心地域委員によるもの)と兼ねられないとあって、今後の見守りの状況により併用の検討をする考えはあるようだ。事業経費は、全て東京都の高齢社会対策包括補助事業を活用しており、財政

面の優遇差が伺える内容であった。周南市としては、現在の緊急通報システムに追加して高齢者の見守りの幅が広がるよう検討すべきと考える。